

デイ福町通信

令和5年7月10日
創刊第1号

先月の活動

ボランティア来所！絵手紙にハーモニカ

コロナの影響で長らく外部の受け入れを控えてきました。先月より受け入れを開始しました。経験豊富なハーモニカのボランティアさん。会場の反応を見ながら適宜マイクパフォーマンスをはさみ利用者様と距離感を近づけるなどスタッフが助けられる場面が多かったです。絵手紙のボランティアさんは非常に自由で、感じたこと感じたままに書くよう促して下さり、形式にとらわれない楽しい時間になりました。自由過ぎたのか、「おしるこ食べたい」と一筆を書く方も、「冷やし中華始めました」とさらに季節を先取りされていました。



食のイベントは静岡県。粉もんの日はちぢみ

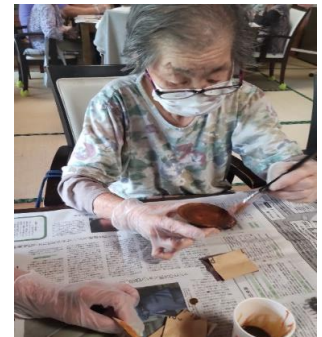
今月は静岡県。静岡おでんを召し上がっていただきました。静岡名物の黒はんぺんを入れ、青のりをかけて食べる郷土料理。桜エビのあえものも小鉢で。恒例の「粉もんの日」、今月はチヂミと一緒に焼きまし昼食後にもかかわらず普通に一食召し上がられました。



今月の予定

- 6日 調理実習（みんなで餃子！）
- 10日 ゴスペルサークルによるイベント
- 11日 塚ヤクルト販売による食中毒の勉強会（利用者様とスタッフ）
- 15日 マジックのボランティア
- 20日 粉もんの日
- 21日 流しそうめん
- 21日 災害勉強会（中区自治推進課）
- 25日 絵手紙ボランティア
- 27日 ハーモニカの演奏会

橘高様はこんな風に過ごされております



橘高様へのコメント

同じテーブルの利用者様と非常に仲良く関り、楽しく時間を過ごされております。以前は、利用中にも編み物を持参されていましたが最近ではたまにしかお持ちになっておりません。絵手紙の時間も一生懸命描いておられました。最近の移動は室内は手引き歩行で安定しております。施設からデイまでは車椅子を使用しております。ずっと独りのテーブルだったのですが、今は5人掛けのテーブルで他者交流も楽しめるようになりました。ご主人さんを亡くされてから、「最近どう？」の問いかけに「たまに目が覚めて、まだ居てるよような気がする」と話されることがありました。

編集後記

このたび広報を発行することになりました。恥ずかしながら以前も（前職場で）発行を試みたのですが、月刊のつもりで発行したものが、隔月になり、季刊になり最後に廃刊になりました。そのせいか『月刊』と名乗るのが非常に恐く……来月も無事皆様の手元に届きましたら、『月刊だったんだ』と解釈してください。しばらく届かない場合は季刊か（あるいは）……残念な結果だったと解釈くださって結構です。現在の事業所の取り組みを一つ、お伝えいたします。それは個別ケアです。必ずしも機能訓練というわけではなく、個人のニーズを探り、それをデイで実践していただくというものです。例えば、脳トレを希望される方にはその人に応じた脳トレの教材を用意し、スタッフが採点をする。下肢筋力を向上させたいと希望される方には利用時に毎回歩行訓練を実施。主婦の役割を継続出来るよう洗い物や洗濯をする方、メニューは様々ですが、目的意識を持ってスタッフと一緒に取り組んでいただけるようサービスを提供させていただきます。